**競技上の注意**

**審判長　佐々木　　修**

本大会は、令和２年６月１日一部改正された現行の日本卓球ルール及び日本学生卓球連盟実施細則を適用して実施します。

卓球競技はスポーツマンシップに則り、ルールを遵守し立派なマナーのもとに、正々堂々と競技を行わなければなりません。

**１．ボール、ラバー、ラケット等について**

* ボールは、日本卓球協会公認　**ニッタク　プラ３スタープレミアム（プラスチック製４０mm白ボール）を使用**する。
* 決勝トーナメントより各選手は、試合開始時間前に「ボール選球所」でボール１個を選球し、プレー領域内で主審に渡すこと。(予選リーグではコートに準備しているボールの中から選球してください)
* 選択したボールが破損等で使用できなくなった場合、又は双方の競技者があらかじめボールを選択してこなかった場合には、主審が所持するボールの中から無作為に１個を選択して使用する。
* ラバーは、ＪＴＴＡあるいはＩＴＴＦが公認したことを示すロゴ付きのものでなければ使用できない。
* 外国製ラケットでＪＴＴＡのマークがないもの、ＪＴＴＡの刻印がないものを使用する場合は、予め試合前に「ラケット使用許可願」を審判長に提出し許可を受けること。
* ゲーム中にラケットを誤って破損した場合は、スペアラケットかプレー領域内で手渡されたラケットと交換して、直ちにプレーを再開すること。

**２．競技服装について**

* 競技用服装（シャツ、ショーツ、スカート）はＪＴＴＡの公認マークの付いているものを着用すること。
* 同じ服装による対戦を避けるため、色、柄の異なった２種類以上の服装を用意すること。
* ゼッケンは、２０２０年度の（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。**(今季、日本卓球協会へ加盟登録していないため公認ゼッケンがない場合は、大学名が入っている他のゼッケンでもよい。)**

**３．試合方法について**

* **予選リーグ・決勝トーナメントとも５ゲームスマッチ、３点先取とする。**

**４．チェンジエンドについて**

* エンドについては、試合開始前の拳により決まった一方のエンドで試合終了まで行うこと。（ゲーム間のチェンジエンドは行いません。）

**５．サービスについて**

* ボールが手のひらから離れた後、ほぼ垂直に１６cm以上投げ上げ、すぐにフリーアームとフリーハンドをボールと両方のネット支柱で形成される三角形の空間領域の外に出さなければならない。
* サービスを開始してから打球するまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつエンドラインより後方になくてはならない。

**６．タイムアウトについて**

* **決勝トーナメント1回戦より採用する。**
* 競技者又は指名されたアドバイザーは、１マッチを通じて１分以内の「タイムアウト」を１回要求することができる。
* アドバイザーは、試合開始前に主審に申し出た者１名とする。
* 競技者とアドバイザーの意見・要求が異なった場合は、競技者の意見・要求が優先される。

**７．抗議、アドバイスについて**

* 主審または副審等の事実の判定に対し、抗議することはできない。
* アドバイスは、試合開始前に主審に届出された各大学の監督、コーチ及び選手のいずれか一人のアドバイザーからのみ受けることが出来る。
* 競技者はアドバイスによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
* アドバイザーが違法にアドバイスをした場合は、警告後ペナルティーが科せられる。

**８．バッドマナーについて**

* 観客に不快感を与え、ゲームの評判を落とすようなクセ、態度（大声で叫び汚い言葉を使う、故意にボールを潰すことや競技領域外に打って出す、卓球台やフェンスを乱暴に扱う行為等）、競技役員の指示を無視する行為は、バッドマナーの対象となる。
* 主審のポイントコール後、速やかにサービスを出さない又はレシーブの構えに入らないなどの行為は

「スロープレー」としてバッドマナーの対象となる。

* バッドマナーに対しては、最初はイエローカードによる警告、２回目は相手に１ポイントを与え、さらに違反行為が続く場合には、相手に２ポイントが与えられる。さらなる不正行為を続けた場合は、主審は直ちに競技を中断し、審判長に報告すること。

**９．促進ルールについて**

* 両方の競技者のポイントスコアの合計が少なくとも１８ポイントに達した場合を除いて、ゲーム開始後１０分を経過しても終了しない場合は促進ルールが適用される。また、それ以前でも双方の競技者の要請があった場合には促進ルールが適用される。促進ルールが適用された場合、そのマッチの残りのゲームは促進ルールで行われる。

**１０．幕・旗の掲示について**

* 今大会では無観客大会としております。しかし試合を待つ選手や監督・コーチ関係者が観客席からアリーナが見えなくなってしまうため横幕や旗の掲示は禁止といたします。

**１１．表彰について**

* **男女ベスト８に入った選手は、試合が終わった時点で表彰を行いますので本部席に来ること。**

**１２．感染症防止策について**

* **本大会参加者は、事前に配布されている「卓球競技大会開催時の感染症防止策について」を遵守し、感染症対策の徹底をお願いいたします。**
* **試合前後の選手同士や審判員との握手は禁止します。**
* **卓球台の上で手を拭かないでください。**

**１３．一般的注意事項**

* ラバーの張替えは、必ず指定された「ラバー張替所」で行って下さい。
* 進行の都合で予定コート、あるいは開始時間を変更することがあるので、放送・掲示などに注意して下さい。
* 競技場内での携帯電話等通信機器の使用は禁止です。
* 競技場内への飲料水の持ち込みはペットボトル（フタのできるもの）に限ります。
* 試合中に起こったケガまたは事故について、応急措置は行いますが、一切の責任は負いません。
* ベンチは若番の選手がコートに向かって左側とします。ご協力ください。
* 体育館内のコンセントから、個人の携帯電話及びビデオカメラ等への充電は行わないで下さい。見つけた場合は、撤去致します。
* 日学連登録選手の喫煙は禁止します。見つけた場合は厳重に処罰します。なお、監督・コーチ・関係者

の方には、体育館は敷地内全面禁煙となっております。近くの喫煙所は関内駅にございます。

* 盗難予防には十分注意を払って下さい。
* ゴミ類は、大会運営者側が設置または指示したゴミ袋に分別をして体育館を出る前に本部席へ持参ください。観客席の下などには捨てないようにお願いします。